

CRIIRAD 声明文要約 2011年 3月20日 9時

3月20日(日)に フランスのメディアでも「福島第一原発近辺でとれた農作物に微量の放射能が検出された」と話題になった。汚染のレベルは人体に影響のある量ではないと言っているが、

その情報は誤りを含んでいる。

食料品(ハウレンソウ、葉物野菜など一週間以上前から放射性沈積物をかぶってきている)の分析結果がだんだん出てきている。検査対象はごく一部であるにもかかわらず、時として放射性沈積物にかなり汚染されていることがわかる。

- 汚染レベルは高く、微量とは言えない。6100ベクレル/kgから15020ベクレル/kg、平均すると10450ベクレル/kgの放射性ヨウ素131がハウレンソウに検出された。その上検査の対象になった農作物の産地は福島第1原発「近辺」ではない。検査が行われたのは茨城県の中の7つの市町村の作物である。(原発から南におよそ100km位)
- 5歳の子供がヨウ素10000ベクレルを摂取すると年間線量限度1ミリシーベルトに達する。2歳未満の子供の場合、約5500ベクレル(15020ベクレル/kgのハウレンソウを366g)で年間線量限度に達してしまう。
- 汚染された食品は撤去されなければならない(葉物野菜、牛乳、チーズなどが汚染されやすい)。「危険性が無い」という事は無い。もちろん非常に高い放射線量ではないし、ただちに危険があるわけではない。現在福島第1原発の高度の放射能の下で働いている方々に比べても、被ばく量は格段に少ない。しかしこれらの数値を見ると、予防策をとる必要がある。汚染された食物摂取による被ばくは、放射性エアロゾルや放射性ガスの吸入摂取と、その放射性煙流による被ばく、そして汚染された土壌からの被ばくにさらに付け足される事になるのだから。
- 3月21日(月)追加情報:茨城県日立市における18日採取のハウレンソウに放射性ヨウ素131が1kgあたり最高54100ベクレル検出された。この値では2歳から7歳の子供には184gの摂取で年間線量限度1ミリシーベルトに達する事になる。

※ CRIIRAD (Commission de Recherche et d'Information Indépendantes sur la Radioactivité) — 独立放射能調査情報委員会

CRIIRAD (クリラッド)研究所は フランスの独立非営利団体で

- 放射能と原子力について知る権利
- 放射性物質の危険から身を守る権利

を擁護することを目的としています。

記者註:フランスでは、チェルノブイリ原子力発電所の問題で住民が十分な情報を得られなかったために大きな被害を受けました。CRIIRADはそのことをきっかけにつくられた民間団体です。